

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4640  
26年4月24日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

# 労働者の祭典 第97回 闘うメーデーに参加を



これはメーデーで歌われる「晴れた五月」(作詞 江森守彌 作曲 関忠亮)の歌詞です。  
五月一日は第97回メーデーです。メーデーはなぜ五月一日か。その歴

おはようございます。

「晴れた五月の青空に  
歌声高く響かせて  
すすむ我等の先頭に  
なびくは赤い組合旗」

史です。一八八六(明治十九)年五月一日、アメリカの労働組合(AFL)が八時間労働制を求めてストライキを行い、これを獲得します。

これを受けて第二インターナショナル(社会主義者の国際組織)が、この日を国際連帯の日とする決議をおこない、一八九〇(明治二三)年五月一日に、国際的なメーデーが始まります。これが起源と歴史です。

日本で初めてのメーデーは一九二〇(大正九)年の五月二日(日曜日)に開かれました。東京の上野公園に集まった万人の労働者は、記念すべき労働者の第一歩を踏み出しますが、世界に遅れること三四年でした。

集会要求としては、労組弾圧の治安維持法一七条の撤廃。恐慌による失業の防止、八時間労働制の獲得。日本軍のシベリアからの撤兵などが掲げられました。集会終了後参加者は治安維持法で検束された人の釈放を求めてデモを行い、警察官と

衝突しました。これがメーデーの起源です。

そして一九三六(昭和十一)年の二・二十六事件(軍事クーデター)の年、戒厳令が敷かれ、メーデーは強権的に中止させられ、一九四五(昭和二十)年の敗戦まで開かれませんでした。

一九四六(昭和二十一年)五月一日、復活メーデーが第一七回メーデーとして開かれます。戦後、続々と結成された労働組合の多くが参加し、東京の皇居前広場では五十万人の労働者が参加しました。



長崎の復活メーデーは一九四七(昭和二二)年五月一日、雨の中で開かれました。長崎市本下町

(現在の築町付近)の公設市場前の広場に二万人が集まり、すべての労働組合が参加し、社会党や共産党の代表があいさつをして、端島炭鉱の労働組合のプラスチックを先頭に、市中をデモ行進しました(長崎労働組合運動史物語から)。



今年(2026年)は連合長崎・長崎地区メーデーが4月29日に開催されます。長崎地区労は、メーデーの歴史を踏まえ4月29日には開催せず、5月1日に長崎地区労働者として開催されます。支部は長崎地区労働者メーデーと長崎県労働者メーデーに参加します。また集会・デモ行進終了後に組合事務所での慰労会を行います。皆さん、参加をお願いします。



メーデーは労働者の祭典ですが、世界の労働者が団結を目指して統一行動をする、闘いの日です。労働運動発祥の地でもある長崎の集会に参加し、働く人としての自分をもう一度見つめなおし、しっかりと生きる。そのための日としたいものです。

祝！第九七回メーデー。闘う労働者の団結万歳。

●第97回メーデー  
※長崎地区労働者メーデー  
5月1日、10時〜五島町公園。  
集会終了後、江戸町公園(旧県庁裏門)までデモ行進を行います。

※長崎県労働者メーデー  
5月1日、10時、魚の町公園、集会終了後鉄橋までデモ行進を行います。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員に正社員化を。

めいぜ、均等待遇、なぐさし差別！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の  
ホームページはこちら

